

# 平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 多賀高等学校体育館

【女子の部】 第1日目 Kコート 第4試合

チームA 県立岡豊 高知	41	{ 8 1Q 22 15 2Q 17 7 3Q 27 11 4Q 14 OT	80	チームB 相模女子大学高等部 神奈川
--------------------	----	---	----	--------------------------

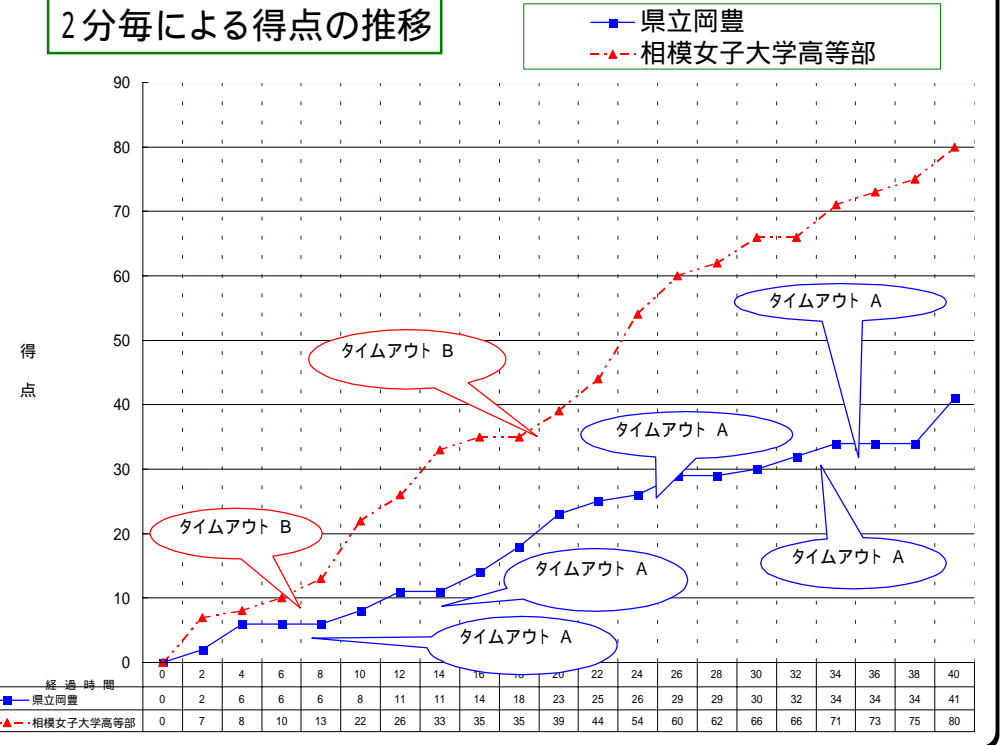
県立岡豊

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	高橋佐代子	2	0	1	1	4	0	0	5	1	3	3	0	3	1	36
5	市川可奈子	10	2	6	2	4	0	0	0	0	1	3	3	1	2	35
6	大野 綾子	12	0	3	4	13	4	6	2	4	4	5	0	1	3	35
7	吉川由希子	5	0	3	2	5	1	2	4	0	2	3	1	0	1	33
8	山本 早織	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
9	山下 亜乃	9	0	0	3	6	3	8	3	1	1	3	1	0	1	35
10	神田かなえ	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
11	桑尾 奈未	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
12	丁野真奈美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
13	大菊 洋子															DNP
14	山中麻沙代	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
15	清家 萌	1	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	5
コーチ	川井 文雄								0							
		41	2	13	13	34	9	18	18	6	11	19	5	5	8	200
		確率	15.4%	38.2%	50.0%				計	17						

相模女子大学高等部

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	内田裕喜子	11	0	1	4	9	3	4	2	3	1	0	0	1	0	21
5	相原佳代子	2	0	0	1	3	0	0	1	1	2	2	1	0	1	10
6	洪川 愛子	19	1	1	8	15	0	0	3	5	5	0	1	0	1	26
7	勝俣 閑	9	0	0	3	5	3	4	2	2	2	2	1	1	0	17
8	高野 香菜	1	0	1	0	1	1	2	1	0	1	5	0	4	1	16
9	嶋田 朋恵	11	3	4	1	4	0	0	3	0	5	3	1	5	0	26
10	神田 瑞	5	1	8	1	2	0	0	3	1	3	3	2	2	2	34
11	神谷 由佳	8	2	4	1	5	0	0	0	1	0	0	1	1	0	19
12	鈴木 美緒	0	0	1	0	3	0	2	2	1	0	2	0	0	0	6
13	松本枝里子	6	0	0	3	5	0	0	0	3	0	1	0	1	0	10
14	森 裕子	2	0	0	1	1	0	0	1	0	2	3	2	0	0	7
15	橋住 桃子	6	0	0	3	3	0	2	2	0	2	1	1	0	0	8
コーチ	久保 敏								0							
		80	7	20	26	56	7	14	20	17	23	22	10	15	5	200
		確率	35.0%	46.4%	50.0%				計	40						

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

両チームともディフェンスは、ハーフコートマンツーマンでスタート。岡豊は#9山下のミドルシュートが連続で決まるが、相模の高さのあるディフェンスにインサイドが攻めきれない。一方、相模は#9嶋田の3Pをきっかけに外角、ゴール下のシュートが決まり、第1Pは相模が14点リードで終わる。

第2Pも相模のペースで始まる。#9嶋田のアシストパスによる#6洪川のゴール下のシュートや#9嶋田の3Pをきっかけに得点を重ねていく。岡豊はディフェンスを2-3ゾーンに変えるが、ディフェンスリバウンドが取りきれない。岡豊はタイムアウトの後、スリークォーターの2-1-2ゾーンプレスを試みるが、岡豊より高さのある相模を抑え切れない。

後半も両チーム、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。岡豊は#9山下を中心にディフェンスリバウンドを頑張るが、シュートに結びつかない。相模は、#4内田、#13松本のゴール下のシュートなどで、66対30のダブルスコアに持ちこんだ。

第4P、両チームともディフェンスの形態は変わらず。岡豊は#6大野、#9山下がシュートを打とうとするが相模のインサイドの高さあるディフェンスに阻まれる。最終的には相模が、80対41で岡豊に圧勝した。

主審 岩尾圭治

副審 大貫美奈

記入者 廣瀬涼子